

【快適にヒト・モノが行き交う“ふじのくに”のみちづくり】

指標 中心都市等への30分行動圏人口カバー率

(1) 指標の考え方

静岡県では、地域の拠点間を結ぶ道路のネットワーク構築や渋滞対策を推進することにより、産業活動や地域の生活の支援および交流の拡大を図っている。

そのため、「静岡30構想」として県の上位計画でも指標としていた「中心都市等への30分行動圏人口カバー率」の向上を指標として設定した。

(2) 指標の対象

道路ネットワークの構築や渋滞対策に資するバイパス整備、現道拡幅など道路改築の事業箇所を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成28年度末の最終実績値は93.8%であり、目標値（93.9%）をほぼ達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H24当初	H28末最終目標	H28末最終実績	H28末達成率
中心都市等への 30分行動圏人口カバー率	93.2% (3,510,136 / 3,765,007)	93.9% (3,536,475 / 3,765,007)	93.8% (3,535,270 / 3,765,007)	85.7%

[高規格幹線ICおよび地域中心都市へ30分以内に到達できる地域に居住する人口／県人口]

※ 県人口（分母、単位：人）は、目標設定時の条件と合わせるため、H22国勢調査人口を用いて算出

※ H27国勢調査人口を用いた場合、H28年度末の値は94.2%（参考値）

(4) 指標に関連する実施事例

1-A10 (バイパス整備)

(国) 136号 函南～三島バイパス
(函南町 塚本 ～ 三島市 大場)

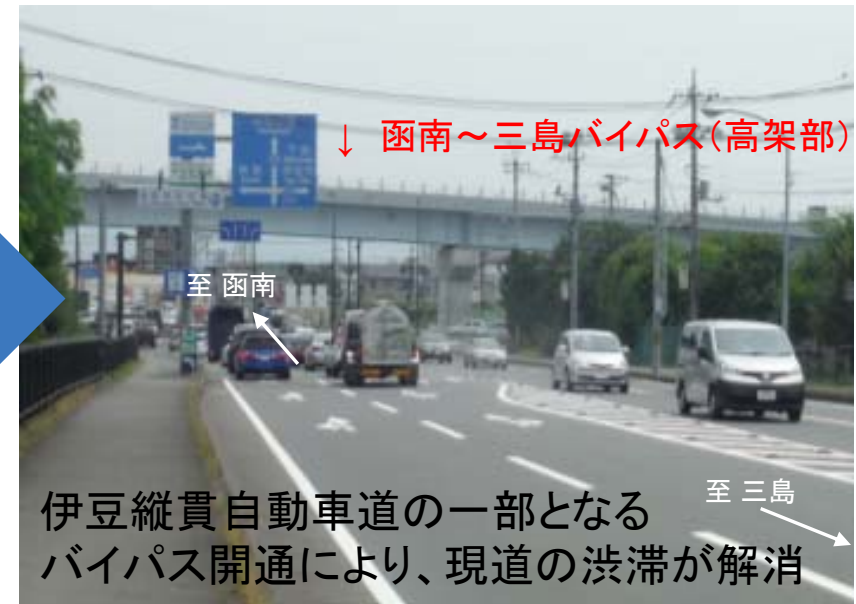
参考 (函南～三島バイパス)



●着手前



●対策後



(5) 今後の方針

引き続き、ストック効果を高めるICアクセス道路、交通円滑化を図る渋滞対策等を進めていく。